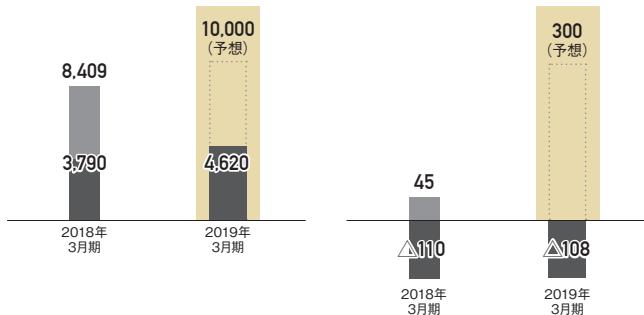


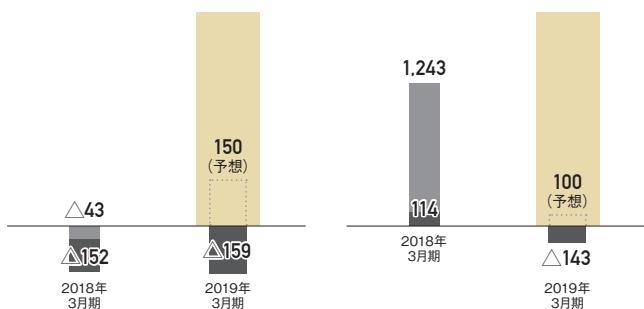
損益の状況 (単位: 百万円)

■ 第2四半期 ■ 通期

売上収益 **4,620**百万円 営業利益 **△108**百万円

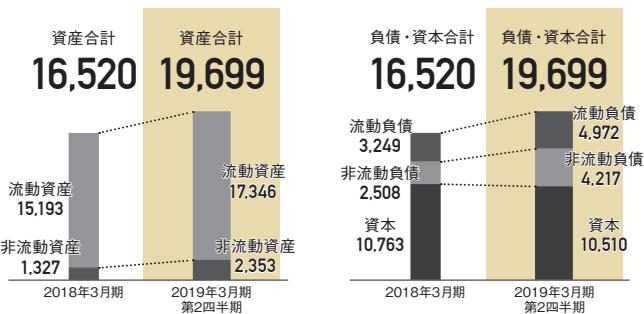


税引前四半期利益 **△159**百万円 親会社の所有者に帰属する四半期利益 **△143**百万円



資産、負債・資本の状況 (単位: 百万円)

■ 資産の部 ■ 負債・資本の部



※2019年3月期第1四半期連結会計期間からIFRSを任意適用しております。
 ※2018年3月期の実績をIFRS基準に相替えて表示しております。

お問合せ先 TEL(03)5843-8888 経営企画部 IR・広報担当 最新情報はHPをご確認ください。

株式の情報 (2018年9月30日現在)

発行可能株式総数 550,000,000株
 発行済株式の総数 139,259,092株
 株主数 9,063名 (内、単元株主数8,807名)

大株主 (千株未満切り捨て)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
Jトラスト株式会社	59,755	42.90
株式会社ユニテッドエージェンシー	29,030	20.84
日本証券金融株式会社	5,389	3.86
岡田 浩明	1,212	0.87
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	1,136	0.81
株式会社ライブスター証券	1,115	0.80
株式会社SBI証券	709	0.50
南原 貴裕	540	0.38
星 久	537	0.38
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	504	0.36

■自己株式数 33千株(失念株:7千株含む)



【株式等に関するマイナンバーお届出のご案内】

- 株式等の税務関係の手續にしましては、「マイナンバーのお届出が必要」です。お届出をされていない株主様におかれましては、お取引のある証券会社等へマイナンバーのお届出をお願いいたします。
- 2016年1月以降、新たに証券会社とお取引をされる株主様は、マイナンバーを証券会社に届出する必要があります。
- 2015年12月以前より証券会社等とお取引をされている株主様は、**2019年1月以降の最初に売却代金や配当金の支払を受ける時までにマイナンバーのお届出が必要となります。**

〈マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先〉

- 証券口座にて株式を管理されている株主様・・・お取引のある証券会社等までお問い合わせください。
- 証券会社とお取引がない株主様・・・下記株主名簿管理人のフリーダイヤルまでお問い合わせください。

三菱UFJ信託銀行 証券代行部 フリーダイヤル ☎ 0120-232-711
 三菱UFJ信託銀行 大阪証券代行部 フリーダイヤル ☎ 0120-094-777

KeyHolder



第52期 上期株主通信

2018年4月1日から2018年9月30日まで

株式会社KeyHolder

証券コード:4712

📦 トップメッセージ **新規事業の確立に向けた取り組みを強化**

上期実績について

総合エンターテインメント事業のライブ・エンターテインメント部門においては、当社の特別顧問である秋元康プロデュースの劇団「4ドル50セント」による週末定期公演や、若者向けの最新コンテンツとして、キングレコードが仕掛ける人気声優陣によるラップバトル「ヒプノシスマイク」、そして、メジャーアーティストだけではなく、これからの新人アーティストを発掘、育成する劇場主導型イベント「UTAGE」などの幅広いジャンルの公演を行いました。また、テレビ番組制作部門におきましては、人気バラエティ番組の他、人気アーティストのコンサート映像、又はDVDなど幅広い映像制作に携わりました。結果、総合エンターテインメント事業の業績は、売上収益547百万円、セグメント利益3百万円となりました。

不動産事業におきましては、不動産分譲部門において、営業拠点の拡大により取扱件数は増加しているものの、上期中に発生した台風や地震などの影響により、一部の引渡しが入り遅れなど、売上収益の面で減少要因となりました。不動産賃貸部門におきましては、安定した賃料収入などの計上により、堅調に推移いたしました。結果、不動産事業の業績は、売上収益2,593百万円、セグメント利益63百万円となりました。

商業施設建築事業におきましては、引き続き得意

とする設計案件を積極的に獲得できたほか、海外の飲食大手などからの設計・デザイン案件や大型案件の工事売上が計上でき順調に進捗したことにより、好調に推移いたしました。結果、商業施設建築事業の業績は、売上収益1,479百万円、セグメント利益58百万円となりました。

以上の結果、2019年3月期連結会計年度における第2四半期までの業績は、ライブ・エンターテインメント部門及びテレビ番組制作部門を7月から本格的に開始したほか、商業施設建築事業が好調に推移したことが寄与し、売上収益4,620百万円となったものの、新規事業などに対する投資及び販管費等の増加により営業損失108百万円、親会社の所有者に帰属する四半期損失143百万円となりました。

11月13日付け開示について

当社では、前述のとおり、株式会社KeyStudioによるライブ・エンターテインメント劇場の開設と運営ならびに、株式会社KeyProductionによるテレビ番組制作を展開するほか、アーティストやタレントの育成、マネジメントなどの企画・開発・制作事業を行う合弁会社「株式会社FA Project」を設立するなど、様々な取り組みを進めておりますが、これに続く施策として、直近で次の2点につき開示を行っております。

「株式会社AKSよりSKE48事業の承継に向けた基本合意書の締結ならびに新規事業開始の検討に関するお知らせ」

当社ではAKB48やSKE48などの国民的アイドルグループの運営・管理を行うAKSとの接点を持ち、同社との事業リレーションの可能性と、今後の相互の発展につき検討を進めており、今回のご案内をさせていただく事となりました。同社が運営・管理するグループのうち、所属メンバー個々の人気やグループとしての印象と知名度、そしてこれまでの活動実績及び収益性など様々な観点から、当社グループにおける総合エンターテインメント事業の収益の拡大に寄与するものとして期待できるとの考えから、SKE48事業を承継することに関する基本合意書を締結しております。

今後は、同事業の当社グループへの承継におけるSKE48事業の商標権等の知的財産権及び運営・管理に係る人員等の具体的な内容や規模及び時期、ならびにスキーム等につきましては、引き続き両社協議のうえで決定する予定です。新情報などにつきましては、改めて当社HPなどのご案内させていただきます。

「新たな事業（カラーコンタクトレンズ事業）の開始に関するお知らせ」

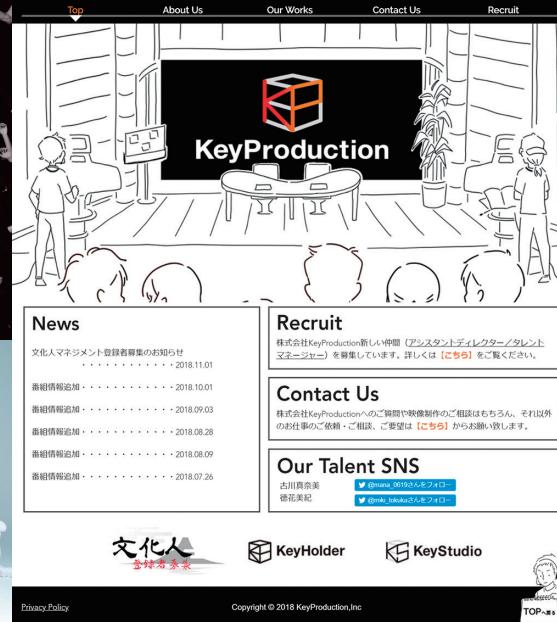
また、株式会社FA Projectにおける新規事業として、カラーコンタクトレンズ事業（以下「カラコン」）の開始につきましても開示いたしました。現在のカラコン市場におきましては、医療用レン

ズメーカーも参入するなど品質が向上しており、著名なタレントやモデルが軒並みイメージキャラクターとして起用されることで、使用年齢が10代から20代半ばまでの若年層から30代にまで拡大するなど、幅広い層からの支持によって市場が形成されており、その規模は堅調に拡大しております。

こうした背景の中、まずはFA Projectにおいて大手広告代理店及び、数々の広告賞受賞歴を有するクリエイターや、大物アーティストの元マネージャーなど、業界に精通したメンバーで構成されたプロジェクトチームを立ち上げ、商品企画、広告、起用タレントの検討・選定などを行ない、来春に予定する当該事業の本格的な稼働及び販売開始時期に向けて準備を進めてまいります。

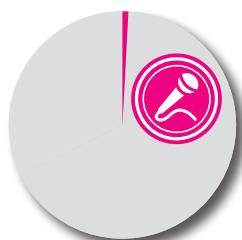
当社グループは現在、大きな変革の時を迎えており、当社グループが目指す新たな「エンターテインメント」の創出に向けて、引き続き積極的なM&Aの実施による機動的な事業再編や経営資源の最適配分を推し進め、企業価値の向上に努めつつ、様々な“豊かさを創造”する魅力的な企業集団に成長させるべく取り組んでまいりますので、引き続きご支援を賜りたいと思います。





総合エンターテインメント事業 (ライブ・エンタメ)

総合エンターテインメント事業 (テレビ番組制作)



売上高構成比
1.0%

業績ハイライト (2019年3月期第2四半期: 2018年4月~9月)

セグメント売上収益

44百万円

前年比 ー%

セグメント利益

△12百万円

前年比 ー%

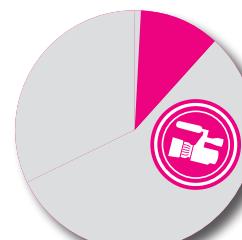
KeyStudio

POINT

7月のグランドオープンから、
多様な分野・コンテンツを積極的に誘致

劇団「4ドル50セント」など
大型の定期公演も展開

秋元康プロデュースの劇団「4ドル50セント」による週末定期公演や若者向けの最新コンテンツとして、キングレコードが仕掛ける人気声優陣によるラップバトル「ヒプノシスマイク」、そして、メジャーアーティストだけではなく、新人アーティストを発掘・育成する劇場主導型イベント「UTAGE」などの幅広いジャンルの公演を行いました。



売上高構成比
10.9%

業績ハイライト (2019年3月期第2四半期: 2018年4月~9月)

セグメント売上収益

503百万円

前年比 ー%

セグメント利益 (「無形資産(のれん)」償却前) ※償却後**16**百万円

47百万円

前年比 ー%

KeyProduction

POINT

人気バラエティ番組の
安定的な制作・供給

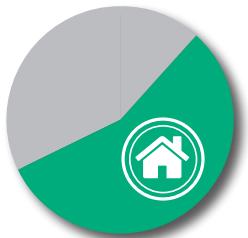
放送局主導型の超大型特番など
での制作協力

既存の人気バラエティ番組「林修の今でしょ!講座 (テレビ朝日)」や「マツコの知らない世界 (TBS)」 「おびゴハン! (TBS)」などに加え、人気アーティストのコンサート映像、又はDVDなど幅広い映像制作に携わる。今後は、放送局との連携を強化し、新たなコンテンツ関連事業の開始など、業容および収益の拡大に努めてまいります。



不動産事業

商業施設建築事業



売上高構成比
56.1%

業績ハイライト(2019年3月期第2四半期:2018年4月~9月)

セグメント売上高

2,593百万円

前年比 92.1%

セグメント利益

63百万円

前年比 43.0%

POINT

取扱い件数は増加する一方、引渡しのずれ込みなどが発生

原価・販管費の増加により減益

営業拠点の拡大により取扱い件数は増加しているものの、台風や地震などの影響により、一部の引渡しが遅れたことや、事業規模拡大のための原価・販管費などの増加により減収、減益となりました。今後は、さらなる用地仕入の拡大と自社施工比率を高めることで、利益の最大化に努めてまいります。



売上高構成比
32.0%

業績ハイライト(2019年3月期第2四半期:2018年4月~9月)

セグメント売上高

1,479百万円

前年比 151.9%

セグメント利益

58百万円

前年比 102.8%

POINT

大型施工案件の安定した進捗による工事売上を計上

海外飲食大手などからの良質な案件の獲得により好調に推移

施工案件において、大型案件の順調な進捗により工事売上を計上できたほか、得意とする設計・デザイン案件において、海外飲食大手チェーンなどからの新規案件などを獲得し好調に推移いたしました。引き続き良質な案件を獲得することにより、事業規模を拡大してまいります。